

カリキュラム区分		5カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
共通教育科目	M104	1年	後期	看護学	選択	保健医療統計解析	30	2	
						Statistical Analysis in Health Sciences			
担当教員									
鳥居 順子									
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
○	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
○	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
○	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
保健医療分野における科学的実践活動および研究に関する文献を読解するため、それらに使用される主要な統計学的手法と解析法を理解する。各自の研究や今後の実践活動において目的に応じたデータ解析を実践するために、必要な知識と方法の基礎を身につける。									
到達目標（授業目標）									
①各自の研究課題に関連した文献の統計解析結果を理解できる。									
②各自の研究課題または実践活動で取得したデータに統計手法を適用し,結果の解釈ができる。									
③各自の研究課題または実践活動に関連した公的統計を検索して、必要な統計結果を入手できる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	統計調査の記述的解析：変数の種類、代表値、散布度、分布（パラメトリックとノンパラメトリック）								
2回	推定と検定：点推定と区間推定、検定とは								
3回	関連性の検討（１）：相関、順位相関								
4回	関連性の検討（２）：クロス表								

5回	2群の比較（１）：平均値の比較、位置の比較、比率の差の比較、対応無						
6回	2群の比較（２）：平均値の比較、位置の比較、対応有						
7回	3群以上の比較（１）：平均値の比較、位置の比較						
8回	3群以上の比較（２）：多重比較、2元配置						
9回	多変量解析入門（１）：重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析						
10回	多変量解析入門（２）：因子分析						
11回	時系列解析（１）：繰り返しのある2元配置分散分析						
12回	時系列解析（２）：生存分析						
13回	保健統計情報の見方と活用法（１）：保健統計とは、人口動態、人口静態、疾病情報、医療資源						
14回	保健統計情報の見方と活用法（２）：愛媛県の情報						
15回	各自の研究課題と統計手法：プレゼンテーションとディスカッション						
16回							
17回							
18回							
19回							
20回							
21回							
22回							
23回							
24回							
25回							
26回							
27回							
28回							
29回							
30回							
成績評価方法及び基準							
第1回から第14回の各回で指示する課題70％、最終課題（プレゼン含む）30％で評価する。トータルで60点以上を合格とする。							
教科書		指定しない					
参考図書等		・中村好一編著：論文を正しく読み書くためのやさしい統計学 改訂第3版，診断と治療社					
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）							
各項目が積み重ねとなるので、理解のための復習が必要。各回の演習課題を次回の週頭までに提出する。最終課題のプレゼンテーション資料を準備する。							
関連科目							
前科目	M202	看護研究方法論Ⅰ					
後科目	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ			
実務家教員							
備考		欠席した場合も、その回の課題の提出を期限までに求める。					